

4 企業会計

公営企業局

水道事業会計 主な収益の推移

(単位:千円)

項目	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 当初予算	令和3年度 当初予算	前年度増減
給水収益	8,883,322	8,807,237	8,732,308	※ 8,716,152	8,729,803	13,651
分担金	303,282	258,136	279,771	290,801	373,513	82,712

※ 令和2年度2月補正 給水収益 7,740,860
増減額(令和2年度当初予算との比較)

△975,292 (基本料金減免 △1,022,439)
水量影響 47,147)

水道事業会計

尼崎市の水道

通水開始時期	大正 7 年	
市内配水能力	318, 573 m ³ /日	
市内の配水管総延長	1, 006 km	
給水戸数	248, 700 戸	
年間総配水量	54, 201, 000 m ³	(前年度比 +1. 6%)
1 日平均配水量	148, 496 m ³	
年間総給水量	50, 130, 000 m ³	(前年度比 +2. 2%)
1 日平均給水量	137, 342 m ³	
阪神水道企業団		
1 日平均受水量	120, 386 m ³	(前年度比 +2. 9%)

(1) 水道事業の施設のあり方（浄水場の設備更新ほか）

130, 481

将来においても安定的に事業を継続していくため、自己施設である神崎浄水場を令和 12 年度以降に配水場化することを踏まえ、将来の投資や維持管理費用の縮減を図るなかで、安定供給に必要な設備保全を行う。

- ・ 神崎浄水場再整備基本計画策定等業務委託
- ・ 神崎浄水場活性炭入替 等

※ 債務負担行為（3 年度提出分）金額 74, 077

(139, 515)



神崎浄水場 供用開始：大正 7 年

(2) 管路の計画的更新と維持管理

1, 588, 438

「重要度」「老朽度」「耐震性」の 3 つの観点から更新の優先順位を定め、配水管の整備工事を行う。なお、更新にあたっては、耐震化するとともに将来的な水需要の減少や地域バランスの変化を考慮した管口径の見直しを図るなど配水管網の再構築を見据えて取り組む。

- ・ 配水管整備工事 11. 6km

※ 基幹管路の耐震化率 見込み 52. 0%

(1, 782, 797)



(3) 配水ブロック化（市内配水エリアの整理）

84, 875

災害時の迅速な断水解消や標高が比較的高い地域の配水圧の確保及び平常時の漏水の発見に効果的な配水ブロック化に取り組む。令和 2 年度末で 6 エリアのブロック化が完了し、令和 3 年度には北西部地域のブロック化を行い、令和 7 年度までに市内を 20 エリアにブロック化する。

- ・ 北西部地域のブロック化に伴う流量制御装置設置工事

(0)

- (4) **鉛製給水管の解消** 147,508
(137,325)
- 鉛製給水管は、水道水の長時間滞留で鉛成分が水中に溶け出すことにより水質基準を超過し、健康への影響が懸念されることから、これを解消するための取組を行う。また、解消することにより漏水の発生件数を抑え有効率※の向上にも寄与する。公道部の鉛製給水管については、ビジョン期間中の令和10年度の解消を目指し取り組む。
- ・公道部の鉛製給水管の取替工事（561 か所）
 - ・鉛製給水管の個別通知（12,000 件）
- ※ 有効率は、浄水場から送られた水が、どれだけ有効に利用されたかを示す指標で、現在の約 96%（令和元年度）から国の目標値である 98%を目指す。
- (5) **応急給水拠点の充実** 175,006
(134,503)
- 災害時に避難所となる小中学校等において応急給水栓（69 か所）を設置し、既存の耐震性緊急貯水槽（7 か所）と浄水場の配水池（3 か所）と合わせて、応急給水拠点（79 か所）を整備する。また、組立式給水タンク（24 基）を購入し、断水等により応急給水栓が使用できない場合に配置する。
- ・応急給水拠点の整備（19 か所）
 - ・組立式給水タンクの購入（8 基）
- 
- 応急給水栓とベンチ式倉庫
(南武庫之荘中学校)
- (6) **広報・広聴（ウォーターニュースあまがさき発行ほか）** 12,767
(21,881)
- 上下水道部として下水道事業と一体となった強みを活かし、広報紙「ウォーターニュースあまがさき」では、水道と下水道の大切さを理解していただく上で、より効果的な情報を発信していくことができるような紙面構成に取り組む。
- ・広報紙「ウォーターニュースあまがさき」の発行
 - ・神崎浄水場イベント開催
 - ・ホームページ運営及びパンフレット作成 等
- (7) **阪神水道企業団等からの受水に要する経費** 3,866,094
(3,852,640)
- 用水供給事業者である阪神水道企業団（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市）及び兵庫県からの受水等に係る経費